令和５年度　自己評価報告書

学校法人　澤田学園

松江総合医療専門学校

1．教育理念・目標

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
1	学校の教育理念・教育目的・育成人材像は定められているか	【教育理念】 「本校は、地域の保健・医療・福祉施設などにおいて、人々の健康の担い手として活躍できる質の高い医療従事者を育成することを目指します。」 【教育目標】 スローガンー信頼を育む、技術を磨くー 「本校は、医療従事者に不可欠な思いやりの心を養い、医療技術を習得するための学校として存在することを目標に掲げます。」 教育理念・教育目的等は定められている。
2	学校における職業教育の特色は何か、明確になっているか	教育理念、３ポリシー（アドミッション、カリキュラム、ディプロマ）において明確化されている。
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	本校は平成 10 年に松江市の誘致校として開校以来、超高齢化社会を迎える地域に必要な人材育成に力を注いでいる。今後も将来に向けて、力を注いでいく。
4	学校の教育理念・教育目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	入学時・進級時にオリエンテーションで、教育理念・教育目標・育成人材像・教育の特色等について説明をしている。ホームページや保護者、学生に向け情報誌等で周知している。
5	各学科の教育目標､育成人材像は、学科等の対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	各学科とも外部から講師を招く等、業界との交流は積極的に行っている。現状に則した専門職の状況や業界のニーズは把握できている。教員研修等を積極的に行い、３ポリシー（アドミッション、カリキュラム、ディプロマ）に基づき、医療のニーズに則した人材育成へ向けて方向づけている。

２．学校運営

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
6	目的等に沿った運営方針が策定されているか	地域医療に貢献できる医療従事者を輩出するために医療機関等と連携しながら実践的な教育をめざすため運営方針を策定し、全教職員を対象とした合同研修にて共有を図っている。毎年度ごとの事業計画、予算等により運営方針を定めている。
7	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	運営方針に沿った事業計画を策定している。
8	運営組織や意思決定機関(会議や委員会等)は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	理事会、運営会議を設置し、定期的に開催し、有効に機能している。
9	人事、給与に関する規程等は整備されているか	就業規則、賃金規則に定められている。
10	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	コンプライアンス体制は整備されている。
11	学校運営組織に外部人材が理事等として参画しているか	理事会に外部人材が参画している。
12	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	SNS（ホームページ等）を十分に活用し、学校便り等で情報を公開している。
13	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	オンライン化により会議、リモート講義等、効率化を図っている。

３．教育活動

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
14	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	各学科とも教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針の策定をしており、学生便覧にも掲載している。
15	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保について、3,000 時間以上のカリキュラムとしてシラバスで明確化している。
16	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	カリキュラムは指定規則に基づき学生が学びやすいように体系的に編成している。
17	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが計画・実施され、シラバス等にも明示されているか	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育を行っており、シラバスに明示している。
18	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	学校関係者評価委員会や有識者懇談会を定期的に開催し、外部からの客観的な意見を聞く機会を設けている。 また、リハビリテーション教育評価機構、実習指導者会議等を行っている。
19	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確であり、GPA 等の客観的指標が取り入れられているか	学則にて成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確にしており、情報公開している。成績評価に関する客観的指標として GPA を採用している。
20	人材育成目標の達成に向けた授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	指定規則に定められた資格要件の教員の確保はできている。人材育成目標を達成しうる授業を行う、経験豊富な教員を確保している。
21	実務経験のある教員を一定数確保しているか	指定規則に定められた実務経験のある教員を確保している。臨床経験豊富な教員を確保し、科目ごとに適切と考えられる教員を配置している。
22	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	各関連分野の業界において経験豊富な教員を確保し、実践的な教育を実施している。
23	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	実習指導者養成講習会等、各業界の活動に積極的に参加をしている。各種関連分野の研修や学会に積極的に参加し、教員の知識、技能について、資質向上を目指している。
24	教職員の能力開発のための研修等が行われているか（教員の臨床研修を含む）	外部での研修等に積極的に参加している。学内での教員研修等も計画的に実施していく。

４．学修成果

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
25	就職率の向上が図られているか	求人倍率　　理学療法学科　　96.8 倍 （R5 年度）　作業療法学科　　121.3 倍 看護学科　　73.2 倍 学生の意向を尊重しながら、担任を中心に就職活動相談や面接指導等、地元優先の就職活動等適切な指導をしている。
26	資格取得率の向上が図られているか	1 年次から国家試験を意識した授業を展開している。特に 3 年次は、国家資格取得を目指し、国家試験にしっかり向き合えるようサポートしている。
27	退学率の低減が図られているか	担任制を敷き、教員同士で連携を図り、学生が抱える様々な問題に対し、早期発見、早期対応できるよう努めている。学生サポート委員会を設置し、情報を共有し対応策を検討する体制をとっている。
28	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	就職先から常に情報収集して活躍を把握している。 在校生についてもボランティア活動等、学外活動も把握するようにしている。
29	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	学友会、実習施設等で、卒業生とかかわる機会を通じて把握しており、教育活動の改善に活用している。

５．学生支援

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
30	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	学生の意向を尊重しながら、就職活動相談や面接指導等、学生への就職支援を行っている。求人票の閲覧等についても学生が情報収集しやすい環境を工夫している。
31	学生相談に関する体制は整備されているか	各学科で学生がいつでも相談できる体制を整備している。また、教員、職員が学生の変化を察知し声掛け、相談にのっている。学生意見箱を設置している。
32	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	学校独自の奨学金の充実、澤田学園基金により、学生が経済的な理由で学業を断念することのないよう、支援をしている。
33	学生の健康管理を担う体制はあるか	学生健康診断を年に一回行っている。保健室を各棟に置き、校内各所に消毒液、検温器を設置している。
34	課外活動に対する支援体制は整備されているか	サークル等の団体活動を認めている。体育館やグラウンド等学校施設をレクリエーションの場として利用できるようにしている。スポーツ用具等をレクリエーションのために貸出している。
35	学生の生活環境への支援は行われているか	学生寮の設置、スクールバスの運行、学生食堂、無料駐車場等学業に集中できる生活環境支援を行っている。
36	保護者と適切に連携しているか	必要に応じて保護者面談等を実施し、連携を深めている。学生生活が保護者に理解されるように、学校便り「かわら版」の配布や SNS への公開を行っている。
37	卒業生への支援体制はあるか	卒業生からの相談には適宜積極的に対応している。各学科学友会を組織し、卒業後も支援体制をとっている。
38	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	社会人のニーズを把握し、医療従事者としての将来像をイメージした教育環境を整備している。
39	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	出前授業や、職業教育の授業、学校ガイダンスにも参加する等、積極的に取り組んでいる。

6．教育環境

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
40	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	指定規則上必要な設備を整備している。また現場のニーズに応じて必要な施設・設備・用具等を整備している。
41	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	実習施設と連携し教育課程に沿って体系的に学外実習を実施できる体制を整備している。学内の実習環境も整備している。医療現場がイメージしやすいよう早期に病院見学や実習を行う等工夫している。
42	防災に対する体制は整備されているか	防災マニュアルに基づいて、定期的に保守点検を行い、適切に対応している。避難訓練等を行っている。

7．学生の受け入れ募集

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
43	学生の募集活動は、適正に行われているか	オープンキャンパス、進学相談会、高校訪問、学校見学の受け入れ、SNS の活用、学校だより等の広報物の発行、DMの発送等、募集活動は適切に行われている。
44	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	SNS で公開し、高校訪問時伝えている。
45	学納金は妥当なものとなっているか	妥当なものと考えている。

8．財務

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
46	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	少子化による学生数の減少から中長期的に学校の財務基盤が安定しているとは言い難いため、学生数の確保及び経費削減に努める。
47	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	妥当と考えている。
48	財務について会計監査が適正に行われているか	適正に行われている。
49	財務情報公開の体制整備はできているか	情報公開体制整備ができている。

９．法令等の遵守

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
50	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令、専修学校基準等を遵守し、運営している。
51	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	個人情報保護に関する基本方針に基づき、対策している。
52	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	自己評価を実施し、問題点の改善に努めている。また、学校評価を実施し、学校関係者評価委員による外部評価を受け、課題と改善方策を参考に、学校運営に活かしている。
53	自己評価結果を公開しているか	情報公開している。

１０．社会貢献・地域貢献

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
54	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	松江市内の高等学校に教員を派遣し、授業を行っている。地域の健康フェスティバルや、歳末たすけあい運動、ボランティアにも積極的に取り組んでいる。
55	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	コロナ禍で減少していた各種イベントの再開に伴い、様々な活動への参加が可能となり、積極的に参加を奨励支援している。
56	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	松江市のリハビリテーション専門職派遣事業に参画し、また健康に関する出前講座を行っている。地域の健康フェスティバルに積極的に参加している。